

## ベジエ曲線のベルンシュタイン表現

- $n$  次のベルンシュタイン多項式  $B_i^n(t)$  は次で定義される  $t$  の多項式である：

$$B_i^n(t) = {}_n C_i (1-t)^{n-i} t^i, \quad \text{ここに } {}_n C_i = \frac{n!}{(n-i)!i!},$$

ただし、 $B_0^0(t) = 1$  とし、 $j$  が  $\{0, 1, \dots, n\}$  以外の値をとるとき  $B_j^n(t) = 0$  とおく。

- $n = 2$  のとき、 $B_0^2(t) = (1-t)^2$ ,  $B_1^2(t) = 2(1-t)t$ ,  $B_2^2(t) = t^2$ ,
- $n = 3$  のとき、 $B_0^3(t) = (1-t)^3$ ,  $B_1^3(t) = 3(1-t)^2t$ ,  
 $B_2^3(t) = 3(1-t)t^2$ ,  $B_3^3(t) = t^3$  となる。
- $n = 4$  のとき、 $B_0^4(t) = (1-t)^4$ ,  $B_1^4(t) = 4(1-t)^3t$ ,  
 $B_2^4(t) = 6(1-t)^2t^2$ ,  $B_3^4(t) = 4(1-t)t^3$ ,  $B_4^4(t) = t^4$  となる。

# ベジエ曲線のベルンシュタイン表現

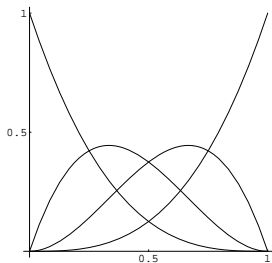


図 6a

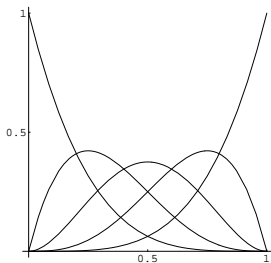


図 6b

3 次, および 4 次のベルンシュタイン多項式のグラフは図 6a, 図 6b のようになる.

## ベルンシュタイン多項式の性質

1) ベルンシュタイン多項式  $B_i^n(t)$  は次の漸化式をみたす.

$$B_i^n(t) = (1-t)B_i^{n-1}(t) + tB_{i-1}^{n-1}(t) \quad (2)$$

2) 単項式  $\{1, t, t^2, \dots, t^n\}$  はベルンシュタイン多項式  $\{B_0^n(t), B_1^n(t), \dots, B_n^n(t)\}$  を用いてあらわせる:

$$1 = \sum_{i=0}^n B_i^n(t), \quad t^i = \sum_{j=i}^n \frac{jC_i}{nC_i} B_j^n(t) \quad (i = 1, \dots, n) \quad (3)$$

が成り立つ.

## ● 証明

$$\begin{aligned} 1) \quad B_i^n(t) &= {}_n C_i t^i (1-t)^{n-i} = ({}_{n-1} C_i + {}_{n-1} C_{i-1}) t^i (1-t)^{n-i} \\ &= (1-t) {}_{n-1} C_i t^i (1-t)^{n-1-i} + t \cdot {}_{n-1} C_{i-1} t^{i-1} (1-t)^{n-i} \\ &= (1-t) B_i^{n-1} + t B_{i-1}^{n-1}. \end{aligned}$$

$$2) \quad 1 = (t + (1-t))^n = \sum_{i=0}^n {}_n C_i t^i (1-t)^{n-i} = \sum_{i=0}^n B_i^n(t).$$

線形代数の言葉を持ちいると、次のように言い表される。

- $n$  次以下の  $t$  の実係数の多項式全体のなすベクトル空間を  $P_n$  であらわす：
$$P_n = \left\{ \sum_{j=0}^n a_j t^j \mid a_j \in \mathbb{R} \right\}.$$
- 明らかに単項式  $\{1, t, t^2, \dots, t^n\}$  はベクトル空間  $P_n$  の基底である。
- 上記の (3) から、ベルンシュタイン多項式  $\{B_0^n(t), B_1^n(t), \dots, B_n^n(t)\}$  もベクトル空間  $P_n$  の基底であることがわかる。

次の命題は、 $r$ に関する帰納法により、(2)からわかる。

**命題 1** ド・カステリヨのアルゴリズムにおける中間点  $\mathbf{b}_i^r(t)$  は、 $r$  次のベルンシュタイン多項式を用いて、

$$\mathbf{b}_i^r(t) = \sum_{j=0}^r \mathbf{b}_{i+j} B_j^r(t) \quad (r = 0, 1, \dots, n; i = 0, 1, \dots, n-r) \quad (4)$$

と表せる。特に、 $r = n$  のとき、ベジエ曲線のベルンシュタイン多項式による表現

$$\mathbf{b}_0^n(t) = \sum_{j=0}^n \mathbf{b}_j B_j^n(t) \quad (5)$$

を得る。これを、ベジエ曲線のベルンシュタイン表現とよぶ。

## ベジエ曲線のベルンシュタイン表現

- **証明**  $r$  に関する数学的帰納法により示す。  
ド・カステリョのアルゴリズムの式 (1) より

$$\begin{aligned}\mathbf{b}_i^r(t) &= (1-t)\mathbf{b}_i^{r-1}(t) + t\mathbf{b}_{i+1}^{r-1}(t) \\ &= (1-t)\sum_{j=0}^{r-1} \mathbf{b}_{i+j}B_j^{r-1}(t) + t\sum_{j=0}^{r-1} \mathbf{b}_{i+j+1}B_j^{r-1}(t)\end{aligned}$$

添字をとりかえて、つぎを得る。

$$\begin{aligned}&= (1-t)\sum_{j=0}^r \mathbf{b}_{i+j}B_j^{r-1}(t) + t\sum_{j=0}^r \mathbf{b}_{i+j}B_{j-1}^{r-1}(t) \\ &= \sum_{j=0}^r \mathbf{b}_{i+j} \left( (1-t)B_j^{r-1}(t) + tB_{j-1}^{r-1}(t) \right)\end{aligned}$$

したがって (2) により、求める結果を得る。

## ベジエ曲線の性質

- **端点一致**： ベジエ曲線は  $\mathbf{b}_0^n(0) = \mathbf{b}_0$ ,  $\mathbf{b}_0^n(1) = \mathbf{b}_n$  を通る。これは、 $j=0$  のとき  $B_j^n(0) = 1$ ,  $j \neq 0$  のとき  $B_j^n(0) = 0$ , また、 $j=n$  のとき  $B_j^n(1) = 1$ ,  $j \neq n$  のとき  $B_j^n(1) = 0$  からわかる。
- **対称性**： ベジエ制御点を  $\mathbf{b}_0, \mathbf{b}_1, \dots, \mathbf{b}_n$  あるいは  $\mathbf{b}_n, \mathbf{b}_{n-1}, \dots, \mathbf{b}_0$  とするとき、2つの曲線は向きをのぞいて、同じである。すなわち、

$$\sum_{j=0}^n \mathbf{b}_j B_j^n(t) = \sum_{j=0}^n \mathbf{b}_{n-j} B_j^n(1-t)$$

が成り立つ。これは、ベルンシュタイン多項式の性質  $B_j^n(t) = B_{n-j}^n(1-t)$  からわかる。



- **直線再現性**：制御点  $\mathbf{b}_j$  が2点  $\mathbf{p}$  と  $\mathbf{q}$  をを結ぶ直線上に等間隔に配置されていたとする：

$$\mathbf{b}_j = \left(1 - \frac{j}{n}\right)\mathbf{p} + \frac{j}{n}\mathbf{q} \quad (j = 0, 1, \dots, n).$$

このとき、 $\mathbf{b}_j$  ( $j = 0, 1, \dots, n$ ) から作られる曲線  $\mathbf{b}_0^n(t)$  は2点  $\mathbf{p}$  と  $\mathbf{q}$  を結ぶ直線  $(1-t)\mathbf{p} + t\mathbf{q}$  となる。これは  $t = \sum_{j=0}^n \frac{j}{n} B_j^n(t)$  からわかる。